

# 長崎県の美しいまちづくり 小値賀町笛吹編

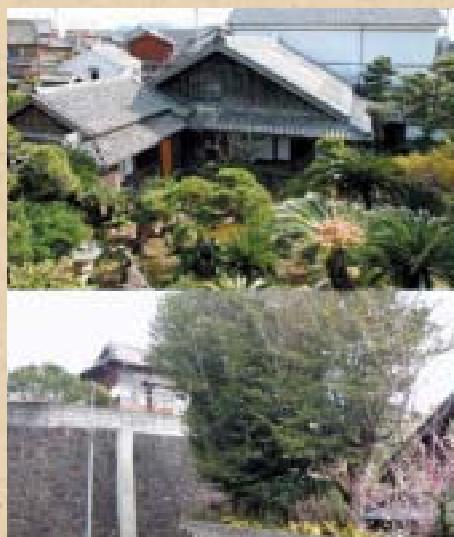
小値賀町笛吹編



**五 笛吹** 島列島北部にある小値賀島は、大小17の島からなる小値賀諸島の中心です。島の南部、フェリー乗り場から歩いて程近いところに、今回ご紹介する笛吹集落があります。

**笛吹** 吹は、かつて捕鯨業で栄えたまち。平成22年3月に、まち全体が県の美しいまちづくり景観資産に登録されました。

細い路地と古い家並みで構成されたこの地区には、捕鯨組織である鯨組などが建立した慰靈塔や地蔵が、まちのいたるところで見られます。この地区の建物の半数近くは、昭和30年代以前に建てられたものです。



**路** 地特有の圧迫感と薄暗さ、触れてしまいそうな屋根同士に、庇を支えるさまざまなもの。「持ち送り」と呼ばれる厚い板。この先には何があるのだろうかという好奇心に駆られます。とはいっても、実際に暮らしている人の生活を乱さないよう、そつと静かに探検です。



**癒** 「しの島」小値賀への関心は年々高まりつつあります。今年の9月には古民家を改装した宿泊施設がオープンし、さらにその魅力を増す小値賀に、どうぞお出かけください！

**島** 島列島北部にある小値賀島は、大小17の島からなる小値賀諸島の中心です。島の南部、フェリー乗り場から歩いて程近いところに、今回ご紹介する笛吹集落があります。

明治時代のものが一番多く、これらが今でも現役で使われています。足元に目をやると、昔の石橋が道と一体化するよう残されていて、驚くほど昔の姿をそのまま留めていることがわかります。

歩いてみると、意外に高低差のある集落です。といつても階段が4、5段であったり、ゆるい坂道であったりするので、まちにメリハリを感じます。少し高いところからまちを見下ろすと、また違った印象になります。

